



かえでゆうびん 9月号



7月から、来年度入所の見学で大勢の方が見学に来られています。園内の見学では「保育方針」・「子どもの生活している姿」を見ていただく機会を作っています。1時間ほどの時間ですが皆さんは我が子が過ごす園をしっかりと見て判断して頂いています。初めて来られる方々に幼児組の子どもたちは戸惑うことなくいつも通りに過ごし、時には「なんできたの?」「ここで今~してるの」と紹介してくれたりすることもたちです。日頃から園に来てくれる人は全てみんなのことを優しく見守ってくれているから大丈夫・・・と伝えています。かえでではお誕生児の「お祝いの会」ではその時にいるすべての人にお祝いしてもらい、今年から始めた『お誕生シール』を見つけて「~ちゃん・今日お誕生日なんだね。おめでとう」と声をかけて下さったり、一緒に歌を歌ってもらえたり、おかげさまでかえでの館内は柔らかくあたたかな雰囲気の中で過ごさせています。

めばえで入所された方は色々な仕組みがわからず一年がスタートしますが、一つ一つの生活の営みから少しずつご理解いただけていますか?開園して15年になりますので、様々なことが「当たり前」で進んでしまうことも出てきています。できるだけ、日々の生活の中でお伝えしていけるように職員と気を付けながら進めていきたいと思っています。何かあればいつでもご相談くださいね。

まず、「敬老週間」が9月17日から始まります。この企画は「保育園は子どもたちにとって預けられる場所」で親から離れてかわいそう・・・ではなく、保護者の方と子育てをしている私たち保育者とお子様との姿を見ていただきながらお孫さんと過ごしてもらい、「預ける場所」から「もう一つのおうち」としての生活の営みを知って頂いています。

次に10月の初旬に予定している「だいちのだいぼうけんのひ」ですが長いお子様は6年かえでで過ごしています。一日の大半を園で過ごしているこの場所で、子どもたちのうれしいこと・楽しいこと・やってみたかったこと等を思いっきり出して子どもたちが考え、企画進行するのを保育者がサポートして思い出いっぱいな一日を体験してもらいます。この体験はこの先の一人一人のお子様の園での生活の集大成につながり、お子様の記憶に大きく残っていきます。どんな思い出作りになるのか今からワクワクしています。そのような経験を積んで巣立っていった卒園の子どもたちが夏休みに「お帰り day」で戻ってきてくれました。大学生の卒園生はちょっとおしゃれでちょっと照れながらですが、来年も来てね~の声掛けに「はい。来ます!」と言ってくれました。玄関に思い出や気になったことなど記述してくれています。(なぜか有名な大学名ばかりですが・・・)

また、この先も様々な出会いと子どもの姿を大切に、かえでで育った全てのお子様を見守っていきたいと思います。

おねがい

- ・入館の際、黄色の名札を提示ください。名札のない場合は名前や身分証明を提示いただきます。子どもの安全を守るためにルールを守って下さい。
- ・病状やお子様の様子を詳しく把握するため、欠席連絡は必ずお電話でお願い致します。登園後の体調の変化でご連絡する場合があります。**仕事がお休みの場合は前日もしくは当日お知らせください。**登園される場合は8時半から16時半の短時間での受け入れになります。またはお子様との時間を大切にいただくため、家庭保育にご協力をお願いします。
- ・9月2日より関西学院より2名の実習の受け入れです。

おしらせ

9月の予定

- ・敬老週間
おじいちゃん・おばあちゃんと楽しい時間を過ごしていただきます。
9月17日(火)~30日(月)(土曜日、日曜日、祝日は除きます)
時間 15:15 ~ 16:15
※ かならず、**入館の際は保護者名札を着用**ください
※ お子さまの写真の撮影はできません。来られる方に必ずお伝え下さい。
- ・6日(金) 避難訓練(警察立ち合い)
- ・25日(水) 月例健診
- ・20日(金) 誕生会
- ・13日(金) 30日(月) 絵画
- ・5、12、19、26日(木) 体操

10月の予定

- ・3日(木) だいちのみ児童交流会
- ・5日(土) だいちぼうけんの日
*だいち組が一日かえで保育園での生活を満喫します。それぞれの職員がかかわって進めていきますのでめばえ~ひかり組は家庭保育の協力をお願いします。
- ・10月23日(水) クラルテによる人形劇

夏の恒例行事で毎日楽しみにしていた高校野球も終わりました。一昔前までは高校野球が終わる頃には朝夕の気温も下がり、心地よい風が吹き、私の中では夏も終わりだ感じていましたが、昨今では夏の終わりは来るのかな?と思うほどの残暑がまだまだ続いています。この原稿を書いている今は、台風の進路がどうなるか心配している頃です。自然災害が少なくありますようにと願うばかりです。夏休みに中高生の卒園生「おかえりデー」に今年もお手伝いに来てくれました。高校生の一人の男の子がめばえぐみのお手伝いに入ってくれていた時のことです。容器におもちゃを出したり入れたり、繰り返しのお遊びを楽しんでいる子どものペースに合わせ、何回も何回もおもちゃを手渡し、一緒に遊ぶ姿を目にしました。その時の眼差しが温かく小さな頃と変わっていない姿を見せてもらったことにうれしく感じ、また会える日を楽しみにしたいと思います。 主幹保育教諭 F

「つぎは、君たちの番だよ」と蝉たちからバトンを渡されたかのように、夜になると虫たちのきれいな音色が響き始めました。まだまだ暑さは続いています。秋の訪れが楽しみです。子どもたちは田んぼの上を飛び回るとんぼを見つけると、手を伸ばしながら一生懸命後を追いかけています。先日、ふたば組で着替えをしていた時のエピソードを紹介します。ロッカーから自分で取り出した服を抱えたYくんは、ベンチに腰掛けました。Tシャツを脱ぎながらぼつりと呟きます。「ママは、なにしてるかな?」着替えの前におうちの方の話をしていたわけでもなく、午前中たっぴりと楽しんだ後の着替えの時間でした。「なにしてるかな?お仕事がんばっているかもしれないね」そう応えると、「ママ、プープーでいった。おべんとうしてるかな」Yくんの頭の中はお母さんのことであっぴいす。色々想像を巡らせて嬉しそうにお話ししてくれました。着替え終わった後はまた友だちの元へと戻り、夢中になって遊ぶYくんでした。離れて過ごしている間も想っているYくんの気持ちを、今すぐお母さんに届けたい!と強く思った瞬間でした。子どもたちも大好きなおうちの方の存在があるからこそ、保育園で安心して過ごさせているのだと感じます。そして、保育園での生活だからこそ、経験できることも沢山あると思っています。大好きな人が待っていてくれること、それを十分に感じながら保育園生活を一杯楽しんでほしいと思います。

メッセージ



最近の我が家に来た家事楽グッズをご紹介☆

今まで食洗器に頼らず頑張ってきましたが、“超音波食洗器”が気になってついに購入しました。洗い桶に水をためて洗剤を少したらしてスイッチオンで水筒も子どもたちのお箸箱もプラスチックの食器もなんでもOKで、12分で綺麗になって食洗器を使うのが楽しくて仕方ない今日この頃です。

その間に子どもたちの歯磨きをしたり、着替えをしたりできる食洗器最高ですね！

家事の負担が減ると自分の時間にも余裕ができて子育て中の母にとって家電に頼ることは大事だなと痛感しました。次は何の家事楽グッズにしようかな〜。とわくわくしながら考え中です。また良い家電があったら是非教えてください。



T先生

先日、夏期休暇を利用してタイのバンコクへ旅行に行きました。美しい寺院や大きな大仏、動物との触れ合いなど、日本ではなかなかできない体験や風景を見ることができました。英語はほとんど通じない国でしたが、翻訳アプリを活用したり、タイ語でありがとうの「コップンカー」という言葉だけでもと覚えたり、言語の壁はありながらもとても楽しい時間を過ごすことができました。電車に乗る際、日本ではICOCA等のカードや切符を使用するのが主ですが、タイでは行きたい駅を選択して機械でお金を払うとコインが出てきます。そのコインを改札口でタッチすると乗れる仕組みになっていて、事前に調べていた知識が役に立ち、異国でも電車やバスに乗れたことに対する嬉しさと自信がつかしました。またタイというとガパオライスやトムヤムクンが定番料理ですが、蒸した鶏をジャスミン米にのせて一緒に食べる“カオマンガイ”という料理が今回の旅行中に食べた中で一番おいしかったです。かえで保育園でも世界の料理に子どもたちが興味を示してくれれば嬉しいなという思いを込めて、中華料理やイタリア料理等を始め、子どもたちが親しみをもってくれるものや、食べやすいものからスタートさせていきたいなと思っています。今後も子どもたちとの対話を大切に美味しいごはんやおやつを愛情込めて作っていきます。

H先生

保護者からのエピソード

最近では、自分で洋服のズボンを閉めたり外したり。お風呂で自分の頭を洗ったりと、チャレンジする事が増えてきました。できな〜い！と甘える日もあるけど、つぼみ組さんになり、おねえさんになったと感じています。いつもお迎えは、おばあちゃんなので保育園生活を見る事が出来ないのですが、家でも大きい声で覚えてきた歌を歌ってくれます。それを見ていると、保育園でもお友達と楽しく歌っているんだな〜と聴いている私達も楽しい気持ちにしてくれます。

つぼみ組 ともみさん

最近家でも息子発信で保育園のお友達の名前が出てきたり、歌を聞かせてくれることがぐんと増えました。「きょうは〇〇君と遊んだのが楽しかったのかな？」「最近保育園ではこの歌をいっぱい歌っているのかな？」と想像しながら息子とお喋りするのが楽しみになっています。

ふたば組 まいさん

本当に良く歌を覚えて帰ってきてくれます。保育園でも楽しそうに歌ってくれているのだとか。まだ文字を読めないのによく耳で覚えて帰ってきて親に聞かせてくれているのを見ていると感心するばかりです。これからも楽しく過ごしてあげれば良いなと思います。

つぼみ組 りょうすけさん

家では本やおもちゃの取り合い、ちょっとしたことでよくケンカをしている3人ですが、保育園ではダンディに参加していることもあり、仲良く遊んでいる姿が見られて頬が緩みます。お兄ちゃんは行事が一つ一つ終わっていくのが少し寂しく感じますが、色んなことにチャレンジしてほしいです。

ふたば・いぶき・だいち組 やすひろさん

かえでの仲間になり早1年、所々話す関西弁も板についてきました。今までは限られた二人のお友達と遊ぶことが多かったですが、「明日は、〇〇ちゃんと遊ぶ約束をした。」と違うお友達とも遊ぶようになってきました。日々成長していく姿は寂しくも嬉しくもありますが、どんな世界が広がっていくのか楽しみです。

ひかり組 ちえみさん

家では未っ子でちゃっかりものの甘えたですが、園ではいい子で頑張っているみたいです。先日、TVで見たことがないのに、お友達とプリキュアごっこをしていると聞きびっくり！スリーツワンGO！ってするんだよ。とノリノリで教えてくれました。保育園は楽しいよ。と歌っている歌を歌ったり、お友達の話など色々話してくれます。

いぶき組 のぶこさん

9月の子どもたちのようす



保育者がわらべ歌や手あそびをすると、模倣して一緒に楽しんでいます。「おてぶし てぶし」の歌が始まると、両手を合わせて最後は「どっちだ」と嬉しそうに見せてくれます。他にも「一本橋」や「あたまかたひざぼん」など様々な歌が始まると身体を動かし、楽しんでいます。



ボディペイントをしました。絵の具に手を伸ばし、大きな模造紙に手で叩いたり、紙の上を歩いたりして楽しみました。気付くと紙だけではなく、足や顔にまで絵の具をつけ、夢中になって遊びました。



気温が高い日が続いていた為、氷を使った感触あそびを行いました。チェーンリングを中に凍らせて、取れるまで頑張って溶かしてみたり、絵の具を凍らせたもので絵を描いてみたり、、、「つめた！」と言いながら氷の感触を楽しんでいました。

また、「春雨に色をつけるとどうなるかな？」と不思議に思い、食紅で色をつけた春雨でも感触遊びをしました。プヨプヨとした感触や色が混ざりあう様子に興味津々で楽しみました。

これからも季節や興味に合わせた感触遊びを楽しんでいきたいと思っています。



赤ちゃん人形とクマの人形に布団をかけて、お世話遊びコーナーを作りました。トントンと優しく寝かしつけてあげたり、スプーンでご飯を「あーん」と食べさせてあげたり、抱っこしてお散歩したり、、、各々がやってあげたいことを見つけて、お世話あそびを楽しんでいます。



プリズモという玩具を部屋に置きました。この玩具は六角形の型に小さな三角形をたくさん敷きつめて遊ぶ玩具です。一人で最後まで集中して完成させる子もいれば、保育者と一緒に楽しむ子もいます。また、赤、青、緑など、たくさんの色の三角形がありますが、好きな色だけで作る子やカラフルに作る子とさまざまで、個性を出しながら遊ぶ事を楽しんでいます。



つぼみ組では、アサガオときゅうりを育てています。真剣な表情をしながらジョウロで水をあげる姿が見られました。小さく実ったきゅうりの赤ちゃんを見て喜んだり、高く伸びたきゅうりのツルを指差して「たかいね」と言ったりしながら子どもたちも成長を楽しんでいます。





ばばあちゃんのアイスパーティーの絵本が大好きな子どもたちは、「ぶどうアイス作りたい」とみんなでアイスを作ることになりました。保育者と栄養士が作る過程を見て、「おいしくなあれ」と嬉しそうです。凍ったアイス食べてみると「凍ってるね」「冷たくておいしい」と顔を見合わせて喜びました。

園庭では氷遊びや泡遊びをして夏らしい遊びを楽しんでいます。氷遊びでは、ちぎった花紙を凍らせてみました。カチカチに凍った花紙の氷をどうしたら溶かすことができるかを考えたところ、水を入れたりすりこぎで叩いてみたりして試す子どもの姿が見られました。



フルーツバスケットや椅子取りゲームなどひかり組の集いでは様々な遊びを楽しんできました。新たに「伝言ゲーム」を始めました。「きこえた?」「もういっかいおうか?」と相手に自分の声が届いたのか、確認しながら進めています。またお昼ご飯の前に今日の献立をみんなの前で発表したりと、生活の中で楽しみながら、相手に伝える楽しさ、気持ちや言葉を受け止める心地よさを感じています。

絵を描きたくて持ってきた紙。実際に、描こうとすると「なにをかけばいいんだろう…」と悩んでいました。そんな時にふと「ねずみばあさんにてがみかいたらいいんじゃない?」とひらめいた子どもたち。おしおのぼうけんへの物語が再び始まりました。「お手紙どうする?」と保育者が尋ね、絵本室の扉に届けることにしました。「だれか分からなくなるからなまえかこう!」「ひかりってかいたほうがいいんじゃない?」「でんきけして、とどけなきゃ!」と、ねずみばあさんに手紙を読んでもらうにはどうすれば良いか考えながら、書きました。



～稲もっと大きくなあれ～

初夏から栽培しているお米がぐんぐん大きくなり、穂も付いてきました。鳥からお米を守ろうとだいち・ひかり組でネットを付けました。四隅にネットを引っ掛ける柱を作るために、砂が入った重たいバケツを運ぶ際には「こっちおもたいからてつだって」「そっちはだいじょうぶ?」と子ども達同士で声を掛け、助け合う姿に心がほっこりしました。そして最後には、去年のだいち組が作ったかかしを傍に置き、お米のことを見守ってもらっています。



お台所から



～心を繋げて～
そうめん流しの竹を使って、水や葉っぱを流している A 君がいました。鉄棒に立てかけて、速いスピードで流れる様子を見て楽しんでいたら B くんが来て「ほくもやっけていい？」と一緒に楽しんでいました。「もっと長い方がウォーターライダーみたいで面白そう」「よし、繋げてみよう」と試行錯誤しているところに他の友だちがやってきて「これ使ったらいいんじゃない？」とナイスアイデアが続々と湧いてきています。最終的には田んぼに水が届くように繋げることができ、水路も子どもたちの心も繋がった瞬間でした。



暑さから水や氷に触れて遊ぶことが増えてきました。
泡あそびから室内にいるぬいぐるみを洗おうとタライにたくさんの泡をつくり「水遊びのシャワーって気持ちいいね」「お腹も洗っとこうね」と優しく声を掛けながら洗っています。洗った後は「どこでごろんする？」と日向を探して乾かしていました。
「シャワーの後って気持ちいいよね」と自分が経験した心地よさを言葉にして友だちにもぬいぐるみにも話しかけていました。



だいち組がこつこつ準備していた夏祭りが開催されました。
「いらっしゃいませ～」「美味しいよ」とだいち組のお店屋さんが声を掛けながら、ひかり組、いぶき組、つぼみ組のペアで様々なお店をお客さんとして周りました。本物そっくり食べ物や飲み物を買いにペットボトルのキャップで作ったお金をひかり組が代表で握りしめて楽しんでいました。めばえ組、ふたば組も遊びに来てくれて園全体で夏祭りを満喫しました。「今度は秋祭りをしよう」と第2回目の秋祭りの開催も考え中です。



とうもろこしの皮むき
夏野菜のとうもろこしが献立に登場しました。そこでふたば組とつぼみ組にとうもろこしの皮むきをしてもらいました。少し力のいる作業にみんな真剣な様子で「ん～よいしょ！」と先生と協力しながらがんばってむいてくれました。つぼみさんは元気よく「とうもろこし！」と知ってる子がたくさんいて、楽しそうに力いっぱいむいてくれました。



とうがん、ゴーヤ
夏野菜のとうがんとゴーヤ、この時期にしか見ることができないのでめばえ組とふたば組とつぼみ組にゴーヤととうがんをもって遊びに行きました。初めてみる大きな大きなとうがん「これはなんだ？」とみんな興味津々！持ってみたり、触ってみたり、匂ってみたり、中には遊び道具のトンクを使って掴もうとする子どももいました。そうしているうちに愛着がわいたのか「離したくない！」となかなか手放してくれず、大切そうに抱きかかえてはじっと見つめていました。



9月の献立には旬の梨やかぼちゃを取り入れていきます。8月と同じように実際に食材に触れる機会を作っていきたいと思います。
また、子どもたちから「ゼリーつくりたい」「またみんなで何かつくりたいな」とクッキングを楽しみにお話に来てくれています。子どもたちのやってみたいことを保育者と共有しながら行っていきたいと思います。

栄養士 H先生 N先生



9月のあそびへの思い

めばえ

8月でめばえ組の子どもたちが全員1歳を迎えました。お誕生日カードを渡す時には、保育園のお友だちみんな集まってのお祝いに驚く表情や一緒に手を叩いて喜ぶ表情など、みんなが笑顔の様子を見て、子どもたちも楽しそうにしていました。生まれて1年、これから待っている新しい出会いや初めての体験を子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思えます。

少しずつ「やりたいこと」「やってみたいこと」も増え、コップを自分で持って美味しそうにお水を飲んだり、服の着脱を保育者に手伝ってもらいながらやってみたりと生活面でもやってみたいことがたくさん見られます。保護者の方へ園での様子を伝える時や家庭での様子を聞くことで共に成長を感じることができ嬉しいです。最近はお友達にも興味を持ちはじめ、遊ぶ様子を見つめたり、関わろうとする姿も増えてきています。保育者と1対1でゆったり過ごす時間を大切にしながら、子ども同士で遊んでいる姿も伝えていきたいと思えます。

ふたば

ふたば組では、毎朝みんなで集まって絵本を読む時間を設けています。その日の天気や季節、興味に合わせて3冊ほど読んでいますが、子どもたちはその時間が大好きでいつもじーっと絵本の世界に入り込んでいます。最近特に「にじ」の絵本がお気に入り、「にじ！にじ！」「もういっかい！」と、可愛くリクエストもしてくれます。ある日の園庭あそびの時間、「しゅっしゅっぽぽ」と言いながらフラフープを持ち遊んでいる子どもがいました。それを見た他の子どもたちもフラフープを探しに行き、みんなのフラフープを紐で繋いで電車ごっこを楽しんでいました。「この遊びどこかで見たことあるな...」と考えていると、それは朝に何度か読んでいた「ももんちゃんぽぽー」という絵本にでてくる場面でした。「ももんちゃんといっしょ？」と聞くと、「うん！！」と満面の笑みで答え、嬉しそうに電車ごっこをする子どもたち。絵本から子どもたちの遊びが広がっていることを感じた一場面でした。生活の中で見て、聞いて、触って沢山のことを吸収しています。そんな世界をもっともっと広げていけるよう、絵本、歌、植物、人等との様々な出会いを大切にしていきたいです。



つぼみ

まだまだ暑い日が続き、子どもたちは水遊びなどの夏の遊びを満喫しています。園庭での水遊びでは全身で水を浴びて楽しむ子どもの姿が見られます。上からシャワーを掛けると「あめだー！」とはしゃぎながら水を浴びることを楽しんでいます。シャワーでできた虹を見つけたときには、嬉しそうな顔も見ることができました。また、テラスでは桶に水をはって水遊びを楽しみます。桶の中に金魚の玩具を入れて破れないポイヤスコップで金魚を掬ったり、コップやペットボトルで水を掬ったりして遊んでいます。まだまだ暑い日が続くので体調面や安全面に気を付けながら、子どもたちといっしょに夏のおわりを楽しんでいきたいです。



いぶき

まだまだ暑い日が続きますが、だんだんと日が短くなってきました。園庭遊びでは、氷遊びや水路遊びなど友達と試行錯誤しながら取り組んだり、全身が濡れるほど思い切り水遊びを楽しみました。室内遊びでは、アートコーナーを使って色々なものを作ることが楽しい子どもたちです。その中で、「一緒に作ろう」と言って友だちと共同作品を作る姿が見られます。絵の具を一緒に出して色を混ぜたり、友達と家に見立てて作ったりと友だちと想像力を膨らませながら遊んでいます。「友だちと一緒に」ということが嬉しい子どもたち。これからも友だちとのやり取りを見守り、輪を広げられるよう援助していきます。

ひかり

夏の思い出と共に一回り大きくなったように感じます。園庭の築山と一緒に寝転んでいると、おいしそうな形をした雲を見つけたり、「きょうね…」と普段は聞けない気持ちや想いを伝えてくれます。何気なく子どもたちと過ごす時間が私も大好きで、一緒に話したり、寝そべりながら、ゆったりと過ごす時間を大切にしています。自分の思いを言葉にして伝えたり、何気ないことで笑い合う中で、友だち同士の関係が深まり、気付けば隣で寄り添ってくれる存在になっています。子どもたちの心の中にある想いや、ひらめき、ときめきに共感したり、寄り添いながらこれからも過ごしていきたいです。

だいち

暑い日が続きますが、子どもたちは毎日出会う不思議や発見にわくわくしています。先日は泡遊びをしている際に「あわをこおらせたらどうなるだろう？」と疑問を持ち、実際に作った泡を凍らせてみることに。翌日確認してみると、白くフワフワの氷になっていました。それを見た子どもたちは「ゆきがふった！」と歓声をあげていて、子どもたちの豊かな感性に引き込まれました。疑問に思ったことや不思議に思ったことを実際に体験する事で様々な感情や気持ちに気づけるよう関わっていきます。

はまかせ

七夕祭りから盆踊りやお店屋さんごっこが広がり始めた7月から8月。最近、アイス屋さんで店員役とお客さん役をいぶき組、ひかり組で交代しながら遊んでいます。だいち組が中心となってお祭り屋さんに必要なものを制作しています。お店屋さんの準備をするだいち組をみて「美味しそうだね」「いつお店開くの？」といぶき組、ひかり組の子も嬉しそうに待ちながら「〇〇作りたい！」とアートコーナーから素材を集めて製作が始まります。子どもたちのイメージしていたものを形にしたい気持ちとアイデアがたくさん詰まった作品が幼児部屋に飾られています。だいち組のお祭り屋さんを筆頭に経験したことが作品づくりや表現あそびに繋がりました。1つ遊びが広がりそうです。